

# つるがしま文化財マップ

## TSURUGASHIMA BUNKAZAI MAP

### 歴史の道

鶴ヶ島市には、日光街道や鎌倉街道など古からの道があります。わずかな面影を残し、姿を消してしまった「歴史の道」を紹介します。

#### ●日光街道

この街道は、江戸時代に八王子にいた千人同心が日光東照宮の警備を勤めるために往来した道で、日光臨汗道とも呼ばれています。鶴ヶ島市、川越市、日高市にまたがって続く杉並木(点線表示部分)は、川越藩主松平伊豆守によって植栽されたと言われています。

#### ●鎌倉街道上道

鎌倉に政治の中心が移り諸国から鎌倉に通じる要路は、軍政上きわめて重要な意味を持っていました。現在の日高市駒寺野新田から鶴ヶ島市町屋、坂戸市森戸へと続き、かつての道は掘割の形となっています。

#### ●川越街道

一般的に「川越街道」と言うと、江戸から川越城下までの街道を指しますが、川越と結ぶ地方街道も、明治時代以降「川越街道」と呼ばれるようになります。その面影は、「才道木日光街道道しるべ」や脚折、三ツ木地内を通る市道439号線の並木に見ることができます。

#### ●飯能街道

鶴ヶ島西中学校の東側にわずかな面影を残す道です。かつては浅羽村から高倉村と中新田村の間を抜け、駒寺野新田、飯能へと至る、鶴ヶ島を横切る道でした。

#### ●鉄砲道

江戸時代に、夜間竹槍の先に提灯を付けて立て見通し、測聲して作った道と語り継がれる道です。下新田、中新田、上新田を一直線に貫いています。

#### ●河岸街道

江戸時代に上新田村、町屋村、中新田村などの人たちが、川越(河岸)に行くために通った道です。

#### ●市道(いちみち)

脚折から藤金を経て太田ヶ谷に入り、明治時代まで重要な暮らしの道としての役割を果たしていました。坂戸市栗生町の七日市場に通う道であったと考えられています。

#### ●江戸街道

かつての浅羽村の橋場より下新田村を通り抜けて脚折村北口に通じた道です。昔殿様が通ったと伝えられています。

### 歴史散策ルート

#### 北コース—4.2km

下新田の羽折稲荷神社(上社・下社)、高倉日枝神社、日光街道と市指定文化財「才道木日光街道道しるべ」をたずねるコースです。

- スタート(北市民センター)
- 羽折稲荷神社(下社)
- 羽折稲荷神社(上社)
- 要岩山大権現
- 飯能街道
- 高倉日枝神社
- 才道木道しるべ
- 脚折の庚申塔・馬頭観音
- 日光街道
- 文化財整理室(脚折村道しるべ・奈良三彩)
- 白鬘神社
- 善能寺
- ゴール(北市民センター)

#### 西コース—4.1km

鶴ヶ島市西部の「歴史の道」をたどります。かつての街道とともに、様々な石造物にふれるコースです。

- スタート(西市民センター)
- 神明社大権
- 町屋の馬頭観音
- 神明様
- 鎌倉街道上道
- 町屋の地藏
- 鉄砲道
- 上新田の道祖神と供養塔
- 河岸街道
- 上新田六角塔婆
- ゴール(西市民センター)

#### 南コース—4.8km

日光街道を中心に慈眼寺、高徳神社へと大きく回るコースです。慈眼寺入口付近は、意外に自動車の往来があります。気をつけて。

- スタート(中央図書館)
- 日光街道
- 逆木の池
- 三ツ木慈眼寺黒道松
- 高徳神社
- 川崎平右衛門陣屋跡
- 日光街道
- ゴール(中央図書館)

#### 東コース—2.4km

コンパクトで歩きやすいコースです。五味ヶ谷地内に残る貴重な水田風景や、足腰の神様「平玉大権現」などをまわります。

- スタート(東市民センター)
- 旧第二小学校校門
- 五味ヶ谷の馬頭観音(四ツ谷)
- 平玉大権現
- 皇大神宮
- 五味ヶ谷の馬頭観音(松原)
- ゴール(東市民センター)



### 凡例

- 市町界
- 字界
- 丁目界
- 国道
- 主要道路
- 一般道路
- 鉄道・駅
- 神社
- 寺院
- 公共施設等
- 学校
- 警察署・交番
- 消防署・出張所
- 郵便局
- 公園
- バス停留所

詳細な位置については、QRコードを携帯電話で読み取ると、マップサイトで閲覧することができます。その中の文化財一覧をご参照ください。

スマートフォン用

※接続には別途通信料がかかります。

1 : 12,000

